



南部町立南部中学校 学校だより 第2号

千一ム南部中

令和2年 4月30日 (木)

校長 望月和彦

臨時休業中に何をすべきか！

今日で4月も終わり、4月11日から始まった臨時休業も今日で20日になります。先の見通せない状況に、生徒や保護者の皆さんも、「自由に出歩けるようになるのはいつなのか」「学校はいつ始まるのか」「授業は大丈夫なのか」「友だちとおしゃべりしたり、遊んだりいつになったらできるのか」「感染症の危険はいつなくなるのか」また、お仕事のことなど不安や苦勞がつきない状態だと思います。私たち教職員も同じ思いです。しかし、医師や看護師など医療関係者や保健所の方々など、最前線でご自身の健康や命をかけて休む間もなく感染症と闘っている方々の報道に触れると、少しの不便さや苦しさは我慢して、自分が国民として、県民として、大人としてできることをやっていたいかなければならないと改めて思うところです。

学校では教職員全員でできることを考えて取り組んでいます。一週間に一度の家庭訪問もその一つです。学年職員が手分けをして、学級通信や配布物、家庭学習用の課題を袋に入れて一人ひとり生徒たちに届けています。できるだけ玄関先で密接にならないように注意しながら、生徒たちの顔を見ながら家庭での生活や学習の様子を聞いたり、学習面や生活面のアドバイスしたり、相談に乗ったりしています。家庭訪問を終えて職員室に帰ってくると、多くの教員が楽しそうに生徒たちの様子を話してくれます。学校がある日のように早寝早起きなど規則正しい生活を心がけている生徒。学校から出された課題に意欲的に取り組み、きちんと仕上げている生徒。家の周りや校庭で集団にならないように、密接しないように工夫して運動している生徒。一日の生活の様子を記録表にびっしり書き込んでいる生徒。自由なたくさんの時間を利用して、たくさんの読書に取り組んでいる生徒。家族のために料理にチャレンジしている生徒。自分自身でやらなければならないこと、自分でできることを考え、この状況の中でもより良い生活を心がけている生徒にほっとする反面、心配になる生徒の話も聞きます。夜中まで起きていて、昼夜が逆転してしまっている生徒。ゲームに興じる時間がとても長くなっている生徒。学校から出された課題にほとんど取り組めていない生徒。とても心配です。家庭訪問や電話等を利用して、そうした生徒にはアドバイスや指導を行いますが、保護者やご家族の皆さんの言葉かけや支援がとても大切です。励ましながら、生徒たちのやる気を引き起こしていただきたいと思います。心配な状況がありましたら、学級担任等にご相談ください。

カレンダーではゴールデンウィークに入りました。例年では家族で観光地に出かけたり、帰省したり、国民が大移動する季節ですが、今年はそうした楽しみは自粛しなければなりません。こうした状況の中での違った楽しみや充実した時間の過ごし方を生徒と一緒にご家族で考えていただき、一日も早く生徒たちの平常の学校生活や保護者の皆様の通常の日常生活が戻ってくることを祈ります。



生徒の学習を保障するための取り組み

臨時休業が長期化して生徒や保護者の皆さんには様々な心配があると思いますが、その一つに、中学校やその学年で学ぶべき学習内容をきちんと身につけられるのかということがあると思います。文部科学省や県・町の教育委員会の指導を受けながら、本校はできる限りの授業時数の確保と生徒の学習支援を行うつもりです。現在取り組んでいることは次のような内容です。

1 家庭学習の課題の工夫

旧学年の学習内容の復習を中心とした課題と同時に、新しい学年の学習内容についても教科書を読めばある程度の内容がわかるものと教員の説明が必要なものを区別し、後者については教科書や補助教材を使いながら学習させ、課題を提出させたものをチェックして、理解について確認しながら進めていきます。

2 授業時数の確保

4月初めの時点で、当初の年間行事計画の夏休み始めの2日間と終わりの3日間、合計5日間を授業日にしました。さらに、11/20の「県民の日」と11/26「学校創立記念日」も授業日にすることを決めました。さらに、生徒たちや教職員の身体や精神的な負担を考えながら授業時数を増やせる部分を検討しています。

3 行事の精選

生徒たちが新型コロナウイルス感染症にかかる危険がある行事は中止、または危険が少なくなるまで延期するとともに、生徒たちにとってその行事が絶対に欠かせない行事かどうかという視点を検討し削れる行事は取りやめ、教科の授業に変えます。

中止したもの…選手権大会、授業参観・PTA総会、全国学力学習状況調査（3年）、福祉施設訪問（1年）、家庭訪問（1年）、中間テスト など
延期したもの…修学旅行（3年）、宿泊学習（2年）、ふるさと探訪（1年）、発育測定・各種検診 など

4 オンライン授業の実施の検討と準備

臨時休業中に実施した各家庭の「ネット環境調査」の結果を活用しながら、オンライン授業が実施可能か検討し、その方法を調査研究しています。実施する場合、ネットに接続できる環境がない生徒については、学校のパソコンやタブレットを使用してもらうなどの対策を考えています。（購入が必要ということではありません）

※文科省の「子供の学び応援サイト」など家庭学習の手がかりとなるサイトなどの情報提供

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

今後も緊急の連絡は「安心安全メール」で！

現時点では、5月7日（木）より学校は再開いたします。しかし、国や県、町からの新たな指示や感染症の状況変化によって、臨時休業延長や登下校時刻の変更等の措置を執る場合は、いち早く生徒並びに保護者の皆様にお伝えするために、「安心安全メール」で連絡させていただきます。ご家庭で情報を共有していただけますよう、よろしくお願いいたします。



景色は、躍動の季節を迎えています...